

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズライン【放課後等デイサービス】			
○保護者評価実施期間	令和7年12月4日		～	令和7年12月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和7年12月4日		～	令和7年12月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月29日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に合わせた専門的な支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3人の子どもに対して1人以上のスタッフを配置するなど、丁寧に関われる体制を整えている。 ・日々の支援記録やスタッフミーティングを通して支援内容を振り返り、プログラムや関わり方の改善につなげている。 ・必要に応じてフォーマルなアセスメントも行い、支援計画の見直しに活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職による知見を活かし、家庭や学校での困りごとについても相談できる体制をさらに整える。 ・相談支援や関係機関との連携を強化し、子どもを取り巻く環境全体を支える支援につなげていく。
2	安全で安心して過ごせる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数や活動内容に応じて部屋を使い分け、個別活動と集団活動の両方に対応できる環境を整えている。 ・パーティションの活用や整理整頓により、子どもが落ち着いて過ごせる環境づくりを行っている。 ・教室の清掃や換気を定期的に行い、衛生的な環境を維持している。 ・避難訓練や安全計画に基づく安全管理を実施し、ヒヤリハットの共有や対策の検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差や階段などへの注意喚起の掲示を行い、引き続き職員の見守りを徹底する。 ・安全管理や事故防止の取組について、保護者への情報発信をよりわかりやすく行う。
3	保護者との丁寧なコミュニケーションと家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の支援後に活動内容や子どもの様子を保護者に伝えている。 ・モニタリングを定期的を実施し、家庭での様子やニーズを聞き取りながら支援計画を見直している。 ・保護者向けの研修会やペアレントトレーニングを実施し、子育ての学びの機会を提供している。 ・相談しやすい環境づくりを意識し、随時相談に応じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け研修や座談会などを定期的に開催し、学びや交流の機会を継続的に提供する。 ・ニュースレターなどを通して事業所の取組や情報を発信し、保護者との情報共有を充実させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムの計画性の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援や教材準備に追われる中で、集団活動の目標や年間・半年単位の計画を十分に整理できていない部分がある。 ・活動内容は多様に実施しているが、計画として明文化されていない部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動のねらいを整理し、年間または半年程度の活動計画を作成する。 ・季節行事や生活体験、身体活動などをバランスよく取り入れ、活動内容の充実を図る。
2	地域との関わりや交流機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は地域の子どもとの交流や地域イベントへの参加などの取り組みは行っていない。 ・利用者や保護者のニーズがどの程度あるか把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や保護者の意向を確認しながら、地域交流の必要性を検討する。 ・地域資源や関係機関との連携方法を整理し、可能な範囲で地域との関わりを広げていく。
3	情報共有や運営体制の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・協力機関や支援体制の整理などについて十分に明文化されていない部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて職員間の打ち合わせの機会を増やして、支援の共有と改善につなげる。 ・関係機関との連携体制や支援体制を図式化・明文化し、職員間で共有する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズライン【放課後等デイサービス】		2026/3/28	令和8年3月28日	利用児童数	34	回収数	20
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	本人の特性に合わせて配慮いただいています。5~6人以上になると少し狭い様に思います。	一人ひとりに十分なスペースが取れるよう、部屋の使い方を工夫します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	専門職の方に丁寧に見て頂けてありがたいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87%	13%	0%	0%	身体障害のあるお子さんや親御さんが来られる場合、入口や建物内部の段差、トイレなど大変になるのではと思います。バリアフリーではありませんが、部屋移動の際には必ず大人が付き添っているのでも注意を高めるのに丁度良いと思います。	バリアフリーの構造になっていないので、利用者のみなさんの階段の上り下りなどは引き続き支援員が見守るようにして、安全に過ごせるようにします。段差や階段などに、貼り紙をするなどして、引き続き注意を呼びかけます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	いつも清潔に保たれていて、換気もしてくれているので、キッズラインで風邪を貰って来たことは無いように思います。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	先生にご用意いただく教材はいつも工夫があり、本人も意欲的に取り組んでいると思います。専門性のある先生、スタッフさんなので親としてとても安心しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	保護者のニーズと子供の特性の両方に配慮して下さっています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	買い物など生活にかかわるプログラムや体を動かすプログラム、制作活動などをもっと増やしてほしいです。グループ活動に季節にまつわることや季節行事などを取り入れると、より関心が高まりそうに思いました。	ご意見を踏まえて、グループ活動の内容を検討します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20%	7%	47%	27%	無くていいと思っています。参加できませんでしたがプラレールのイベントのようなものごとでしょうか。	地域で他の子どもと交流する機会は設けていません。今後、利用者の皆さんのニーズに合わせて必要性を検討します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80%	13%	0%	7%	勉強会が大変勉強になりました。また機会があるといいなと思います。ペアレント・トレーニングに関してこちらの要望に親切に対応していただき、ありがとうございました。	児童発達支援事業をご利用時にご希望の方には、全13回の、お子さんへの接し方に関するe-learning講座と療育体験を提供します。昨年度、今年度と、ご家族向けの研修会、座談会を年1回ずつ開催しました。定期的に保護者向けの研修会等を開催できるようにします。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子供の活動を見られたり、先生とのお話の時間をいただけることで、私の学びの場にもなっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93%	7%	0%	0%	先生方の特性理解の専門性が高いので、児発や放デイのみならず相談支援の方にも力を入れてほしいです。家庭や学校、通所先などでの日常的な困りごと、発達段階における困りごとなどを相談したり、学校などでの様子を見てもらったりできると親や通学（所）先にとってもとても助かると思います。	保護者の皆さんが相談しやすい環境作りにも努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	こちらが抱えている問題点などを即座に理解してくれて、アプローチの仕方や事業所内での対応を考えてくれます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20%	20%	13%	47%	保護者同士や兄弟同士の交流は、イベント等を開催しないと難しいと思います。ニーズがどのくらいあるかわかりません。保護者会等は不要だと思っています。	今年度は、保護者の方の座談会を2回開催しました。保護者会、きょうだい向けのイベント等については、皆さんのニーズをうかがいながら検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	87%	0%	0%	13%		避難訓練等の実施については、LINEでお伝えしています。ニュースレターを定期的に発行できるように努めます。業務に関する自己評価は、ホームページに公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93%	7%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	施設はしていません。それがどうかは分かりません。	支援中の教室の施設について、検討します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	67%	0%	0%	33%	怪我をしたことはありません。安全対策がしっかりしているからだと思います。	支援時間中の事故や怪我は、発生状況、対応などについて、その日のうちに保護者の方に知らせています。今後も迅速な対応と丁寧な説明を心がけます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	先生との遊びの時間を楽しんでいます。いつも子供の遊びに寄り添っていただけるのでありがたいです。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	87%	13%	0%	0%	難しさを感じずにスモールステップで楽しく学んでいるように思います。ありがとうございます。大好きな場所。自分のままでいられる楽しい場所。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	いつもありがとうございます。いつも大変素晴らしい、子どもキッズラインさんが大好きです。いつもありがとうございます。今年度で通所が最後になりますが、当初の予定を大幅に超えた期間、児童発達支援からお世話になり、本当に有り難く感謝しております。お陰様で子供もかなり成長しました。今後は相談支援を利用して頂き、キッズラインで親子共々学んだ事を活かして過ごしていきたいと思えます。他の放課後デイさんを見学して、より一層キッズラインさんの細かい配慮にありがたみを感じました。小学校高学年になると通えない事だけが残念です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズライン【放課後等デイサービス】		公表日	令和8年3月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用人数に合わせて部屋を準備している。集団活動ができる十分なスペースや、個別対応ができる個室がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	子どもの様子に合わせて1～3人に対して1人以上のスタッフを配置している。	担当支援員が休む場合の対応が大変なことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	子どもが過ごしやすいように収納や整理を行っている。子供の様子に合わせて、パーティションなどを使用して環境を調整している。バリアフリーではないが、注意喚起の張り紙をしたり支援員がその都度見守ったりしている。	文具棚や荷物置き場について、さらに使いやすい配置を検討できるとよい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	子供や保護者が過ごす場所や触れる場所の清掃を定期的に行っている。利用者の人数、特徴、活動の内容などに合わせて部屋を使い分けている。	窓や棚の拭き掃除をより丁寧に行うなどして、清潔に保てると良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	子どもがひとりで過ごしたい時や落ち着きたい時に、個別の部屋や場所で過ごすことができる環境がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	定期的にスタッフミーティングや支援会議を行っている。支援の記録と振り返りを毎回行い、プログラムの更新や子どもへの対応の検討を行っている。	日々の支援や教材準備に追われて意識が回らないことはある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者に定期的に事業所評価を依頼し、課題を見つけて改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的にスタッフミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		外部評価が必要かどうか、必要な場合はその方法を検討しなければならない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修などの情報が周知され、希望に応じた受講の機会がある。内部研修を定期的に行っている。全員が動画を視聴した性教育の講演は、とてもためになったのでよかった。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	学習やグループ活動の内容、子供の参加の様子について毎回保護者に伝えている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	日々の支援がアセスメントを兼ねていて、記録を元に次の計画を立てられるようになっている。保護者からはモニタリングの時に、日常の様子やニーズを聞いている。半年に1回、子供の様子や保護者のニーズ、今後の目標について話し合い、計画を立て直している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児発管と担当支援員が支援会議を行い、内容を踏まえた支援計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	担当支援員も支援計画を作る時期の支援会議に参加し、共有された計画に合わせてプログラムを組んでいる。また、支援の記録に使用するデータベースに最新の目標が反映されていて、随時確認しながら支援を行うことができている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	必要や希望に応じてフォーマルなアセスメントを行っている。日々行動観察を行い、記録し、対応を検討している。	フォーマルなアセスメントが必要か検討できるとよい。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	「地域支援・地域連携」の部分は「家族支援」「移行支援」に含む形で記載している。子どもの様子や保護者のニーズに合わせて支援の内容を検討している。保護者の相談に応じ、必要に応じて学校との連携を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	支援会議の内容を踏まえて担当支援員がプログラムを立案している。担当が他のスタッフに気軽に相談できる体制がある。支援記録を共有することで他の支援員の取り組みや教材を参考にでき、担当が半年ごとに変わることで多様な視点からの支援が可能となっている。	集団活動の目標設定を明確にできると良い。集団活動の年間計画、あるいは半年の計画を、だいたいで決めてもらえるとよいかも知らない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	集団活動の計画や実施を持ち回りでを行い、多様な活動に取り組むことができている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別の学習に取り組む時間や集団活動、集団での遊びの場を提供している。必要に応じて個別の対応も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日2回のブリーフミーティングを行い、その日の予定や役割分担、注意事項について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	7	正式な打ち合わせは実施していないが、気づきや共有事項はチャットツールや口頭で随時伝達している。担当支援員が毎回支援の振り返りを記録・共有し、必要に応じて当日または次回に向けて職員間で相談を行うなど、支援の改善に努めている。	毎回行ってはいない。その日のうちに打ち合わせが必要かどうか検討したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎回の支援の記録が徹底されていて、必要な対応を職員間で検討、共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングや、児発管と担当支援員での支援会議を行い、支援計画を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	3	ガイドラインにある内容とどこまで合致しているのかわからないが、それに沿った様々な活動を用意できていると思う。	地域交流の機会の提供はしていない。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	その日の過ごし方や活動への参加の仕方などについて、利用者の希望を尊重し、必要に応じて利用者や支援員で相談して決めている。活動や遊びに対する選択肢を設け、自分の希望を伝えられるように支援を行っている。	他にも機会があるとより良い。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発管が参加する機会が多いが、事前に担当支援員と利用者の情報を共有したり、支援の様子を観察したりしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	主に管理者や児発管が、地域の関係機関との連携や調整を行っている。	協力機関や支援体制について、明文化、図式化できるとよいかも知らない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	3	保護者を通して情報を得ている。送迎は行っていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	就学前から通っている利用者が多いので、情報共有もされていることが多い。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	その年齢の利用者を支援する機会がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	横浜市が行っている研修の参加の機会がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		ニーズがあるのかわからない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		わからない。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	支援の内容について担当支援員からフィードバックの時間を毎回設けている。児発管が見学室を訪問して保護者と話す機会を設けている。家庭での様子を聞き、課題に対する対応策と一緒に検討している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	ペアス（ペアレントトレーニング）を提供している。進路に関する研修会を保護者に向けて行った。	保護者向け研修を計画的に実施できるとよい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	保護者が集まる機会を計画している。	保護者同士で話したりつながったりできる機会を提供できると良いかもしれない。きょうだいで参加できる活動を企画できると良いかもしれない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	随時相談に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	LINEで連絡している。ニュースレターを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	実績記録票の扱い方を変更した。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	それぞれの利用者に合わせた伝え方（絵や文字を使う、わかりやすい言葉を使うなど）を工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		地域とどのように関わっていくのがよいか、検討できるとよい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に各マニュアルの見直しや訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	地震の避難訓練、水害の避難訓練、火災の避難訓練と、災害ごとに訓練をおこなうようになり、災害ごとの気をつけることの違いが明確になった。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	マニュアルは策定しているが、食物を提供する機会がない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に基づき、定期的に安全管理を行っている。安全に関する事案は速やかにスタッフ間で共有、対応している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	「安全計画」を教室入り口に掲示し、ニュースレターでも紹介している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットの記録をスタッフ間で共有し、ミーティングで全ての事案への対応策を検討している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修を行い、虐待防止のための対応策を話し合っている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			